

生活体験合宿

テントで宿泊する生活体験合宿も残り2班になりました。12月からの生活体験合宿は、通常の合宿に戻ります。昨年度から、テント泊を導入しました。テントで寝る体験をしたことがない参加者にとっては、とてもいい経験になりました。また、各グループに分かれ、カレー作りとメスティンでご飯を炊きました。



- 【参加者の感想】
- 昨日、ぼくが急に寂しくなり、悲しかったけど、宿泊の同じグループの友達がたくさん笑わせてくれたりしたおかげで、寂しさも悲しさもなくなりました。
 - 初めてテントの中で寝てみたけど、友達と寝て楽しかったので、ぐっすり寝れました。
 - 最初はテントで寝るのが怖かったです。でも寝てみると思ったより怖くありませんでした。



飯塚市庄内生活体験学校のホームページに掲載している「ほっとニュース」を抜粋して掲載します。

令和5年6月24日(土)、生活体験学校で食育キッズの活動がありました。今回の活動はジャガイモ掘りでした。食育キッズは、キュービーみらいたまご財団の助成を受けて、1年間活動しています。活動内容は、季節ごとに様々ですが、今回の活動は、荻原史朗先生に野菜の収穫について指導をお願いしました。感想を紹介します。三澤千夏さんは、次のような感想を書きました。「ジャガイモが大きくてびっくりしました」「頭が出たじゃがいもは、ソラニンというのがついて緑色になったことが分かりました」金子まなさんは、「ばれいしよは、あつまって土の中のできる。メーカーは、広がってできるので、広く掘る」「じゃがいもの実は食べない」今まで知らなかったことを、たくさん学んだジャガイモ掘りでした。

(令和5年6月24日 掲載)



生活体験学校の社会教育実践演習
 今日、ここに来て、一目見て、わ!!!好きな所だ!と思いました。動物がいて、植物が育っていて。アスファルトの作業をしていたら子ども達が、わっとやってきた。なんて命を楽しくする場所だろうと嬉しくなりました。作ること、食べること、生きていく力を見つめる数日間、そのひと時であっても、おいもをほって土を感じて、という時間を与えられる場作り、すばらしいです。こんな場所もっとあればいいな、長く続けたいなと心から思います。私たちが作ったアスファルトの道がここで過ごす子ども達の安全に少しでも役立てるといいなと思います。なんか・・・また来たいんですけど、思っています。

工事中 (令和5年8月6日 掲載)



生活塾

令和5年6月から8月までの間に、生活塾を8回実施しました。活動内容は、サツマイモの苗植えやそらめん流し、サツマイモのツル返しなどを行いました。また、各係活動では、おかず係・動物係・菜園係・ご飯係・風呂係に分かれて活動を行いました。今年度からご飯係は、「メスティン」という道具を使って炊飯をしています。

体験活動



おかず係

参加者全員の食事を作ります。食品衛生に注意しながら、食事を作ることの大切さを学びます。



動物係

ヤギやウサギの小屋掃除を主に行います。汚いものをいとわずに掃除をし、きれいにすることを学びます。



風呂係

風呂掃除の仕方や薪で風呂を沸かす方法を学びます。



ご飯係

メスティンを使って、ご飯を炊きます。火の起こし方やマッチの使い方を学びます。



菜園係

草取りなどの菜園の手入れや野菜の収穫をします。野菜の名前や成長過程を学びます。



【問い合わせ先】

飯塚市庄内生活体験学校 (指定管理者: NPOどんぐり)
 〒820-0111 福岡県飯塚市有安958-1
 TEL: 0948-82-3188 FAX: 0948-82-2780
 mail: taiken.sch@oks.or.jp HPIはこちら▶

